

西部林道

西部林道は、屋久島の西部に位置し、様々な種類の亜熱帯性の木や植物に囲まれています。この森では、島の野生動物を見かけるチャンスが最も多いでしょう。ここ(西部林道)では動物が保護されており、島の他の地域と違い、サルやシカの数を抑えるための狩りも禁止されています。森には、ヤクザルやヤクシカが生息しています。どちらも、北日本のシカの亜種です。例えば、雄のヤクシカは、北のシカと比べて毛の色が濃く、角の枝の数も少ない傾向にあります。

ゆっくりとドライブしながら森を通っていると、サルやシカの一団を見かけるでしょう。(動物たちが)人に慣れ過ぎたり、屋久島の住民に迷惑をかけたりしないためには、車の中から動物の写真撮影や、観察するのがベストです。運が良ければ、サルが互いに毛づくろいする様子を見られるでしょう。